

11

の重点項目



CONTENTS

- 1 産業振興計画の推進 P.2
- 2 「観光ビッグ・バン。400万人観光への飛躍」 ~ 観光八策/土佐・龍馬であい博の始動 ~ P.3
- 3 あったか高知で、暮らそうよ。 ~ 移住促進対策と第一次産業の担い手づくり ~ P.4
- 4 ヒト・モノ、迎える、運ぶ ~ 公共交通・二次交通の確保と総合物流戦略づくり ~ P.5
- 5 生活を守る、産業振興につなげる。 ~ インフラの整備と南海地震対策の推進 ~ P.6
- 6 学力向上・いじめ問題等対策計画の着実な推進 ~ 計画の充実強化と課題のある地域への積極的な支援 ~ P.7
- 7 まち、むら、子どもたちでいっぱい。 ~ 少子化対策の総合的な推進/生み、育てやすい環境づくり ~ P.8
- 8 高知から始まる新しい支え合いのカタチ ~ あったかふれあいセンターの整備促進 ~ P.9
- 9 元気、イキイキ、みんな長生き ~ 日本一の健康長寿県の実現に向けて ~ P.10
- 10 A life in 中山間 ~ 安心して住み続けられる地域を創出します。 ~ P.11
- 11 県民を守るための緊急雇用対策 ~ あったか高知・雇用創出プラン/3千人の雇用を目指して ~ P.12

産業振興計画の推進 85億円

1

足下を固め、活力ある県外市場に打って出る

予算額 860百万円

地産地消の徹底

地域資源の発掘 → 商品づくり・加工 → 売り場の確保

主な取組

情報を交換・共有し地域の資源を発掘・活用
消費者の視点に立った商品開発、商品の磨き
上げを支援
大消費地高知市などでの売場の確保を支援



地産外商の推進

商品の磨き上げから販売までをワンストップでサポート

主な取組

本県の持つ強みを
活かして、県外・海
外の市場を視野に入
れた市場戦略の樹立
と経営拡大の推進

商品の磨き上げを支援（プロダクト
アウトからマーケットインへ）
県産品の販路の拡大を支援
企業の販売力の強化を支援
海外販路開拓へのきめ細やかなサポート

2

産業間連携の強化

予算額 2,240百万円

観光産業の戦略的展開

（観光ビック・バン～400万人観光、1,000億円産業への成長を目指す～）

主な取組

県民参加による体験型資源の発掘と磨き上げを推進
県内の観光地を結ぶ交通手段を確保
龍馬伝をきっかけに首都圏を大きなターゲットにした誘客展開 など

主な取組

高付加価値化（加工産業化）の推進

魅力ある加工品づくり（マーケットインの徹底）
企画段階からの徹底したブラッシュアップ
食品加工業者の育成支援

3

足腰を強め新分野へ挑戦

予算額 5,366百万円

生産地のまとまりと担い手の育成

- ・ まとまりのある園芸産地の再構築、「森の工場」の整備
- ・ 第一次産業の新規就業者を確保するための対策の実施 など

地域における多角的・複合的ビジネスの展開

- ・ 地域の野菜集出荷システムの確立、休耕地の受委託・移動販売・介護福祉など地域のニーズや課題に応じたサービスの提供 など

新分野への挑戦

- ・ まんがなどのコンテンツをビジネスにつなげる仕組みづくり、健康福祉分野へ企業が参入するためのプランづくりへの支援 など

計画を強力に推進していくための、財政的・人的支援

《221項目の地域アクションプランなどを応援するための総合補助金（新設）、既存の事業の拡充、本庁・地域を通じた支援体制の構築など》

「観光ビッグ・バン。400万人観光への飛躍」 11億円

～ 観光八策 / 土佐・龍馬であい博の始動 ～

一策 効果的な観光PR、プロモーション活動の展開

観光交流拡大事業【549,231千円】

- 「龍馬伝」を本県の観光振興につなげるため「土佐・龍馬であい博」を開催

「土佐・龍馬であい博」パビリオン（H22年1月～12月）

「土佐・龍馬であい博」終了後の運営（H23年1月～）

テーマ館（約500㎡）

- 大河ドラマ情報コーナー、展示コーナー
- 映像シアターコーナー など

建築素材としての再利用
県の防災倉庫、災害時の住宅資材としてのストック、
地域の直販施設への活用などを検討

高知情報発信館（約400㎡）

来県者の県内周遊を促進し、消費拡大のためのツール
高知に来ないとわからないレアな観光情報や旬の物産情報を提供

そのまま活用

高知からよさこい発信事業【14,411千円】

- よさこい祭の受け入れ態勢の強化とスーパーよさこいなどでの情報発信
旅行会社等対策及び首都圏情報発信事業【29,784千円】
 - 観光コンベンション協会が行う事業で、旅行会社に対して本四連絡橋の通行料や貸切バス料金等の一部助成を行う。また、首都圏での情報発信を行う。
- ### おもてなし推進調整事業【12,144千円】
- 高知龍馬空港の紹介コーナーをリニューアルと他空港での高知県観光PRの実施

二策 県内の観光地を結ぶ交通手段の確保

幕末維新タクシープラン及び周遊観光タクシープラン事業【3,841千円】

- 幕末維新をテーマにした旅行商品や周遊タクシープランを企画する。また、タクシー運転手への講座を開講する。

二次交通整備事業【8,760千円】

- 観光コンベンション協会が行う事業で、「JR高知駅～はりまや橋～五台山～桂浜」を結ぶMY遊バスの運行を行う。

ふるさと雇用再生定期観光バス運行事業委託料【1,904千円】

- 高知市周辺の龍馬関連の観光地等を周遊する定期観光バスの運行事業を委託する。

三策 四国4県での受け入れ態勢の整備、PR活動の展開

四国観光立県推進協議会負担金【35,000千円】

- 四国4県の連携による首都圏をターゲットにしたキャンペーン事業等の展開

四策 地域の自然・歴史・文化などを活かした県民参加による体験型観光資源の発掘と磨き上げの推進

観光交流拡大事業【549,231千円】 <再掲>

観光産業振興事業費補助金【10,000千円】

- 市町村や地域の団体等が、地域アクションプランなどを具体的に推進するために実施する事業を支援する。
- ### 観光圏整備事業費補助金【6,666千円】
- 国の観光圏整備事業を導入し、広域的に市町村や民間団体等が取り組む事業を支援
- ### 地域コーディネート組織確立支援事業費補助金【1,000千円】
- 地域の広域観光協議会の組織強化を支援する。
- ### 観光施設等緊急魅力増進事業費補助金【80,000千円】
- 市町村等が行う観光施設の修繕等を支援する。

五策 観光振興に寄与する人材の育成と活用

観光交流拡大事業費【549,231千円、うち18,000千円】 <再掲>

- 「土佐・龍馬であい博」を開催するにあたって、効果的なPRや観光コースを設定するため外部のアドバイザーを活用する。
- ### 観光ガイド育成事業【2,157千円】
- 観光ガイド組織の立ち上げやレベルアップのための研修等を実施

六策 地域コーディネート組織の整備

地域コーディネート組織確立支援事業費補助金【1,000千円】 <再掲>

七策 国際観光の推進

国際観光推進事業【623千円】

- 国際観光推進会議（仮称）を設置し、国際観光を推進する戦略づくりを行う。

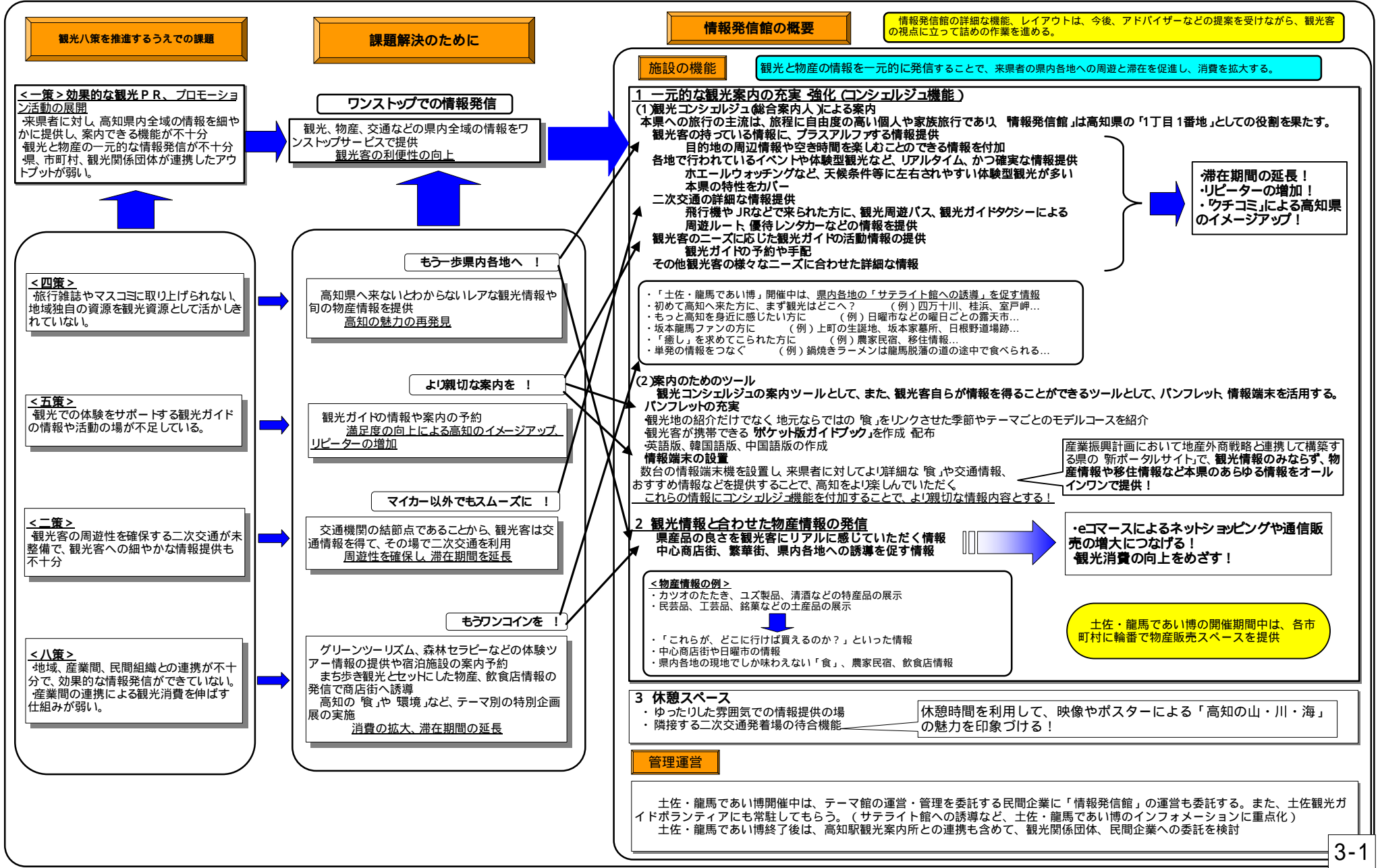
八策 産業間連携による新たな可能性への挑戦

観光交流拡大事業【549,231千円、うち65,000千円】 <再掲>

産業振興事業費補助金【10,000千円】 <再掲> など

「龍馬伝」の放送をとらえ「観光八策」の推進によって、400万人観光と1000億円産業の実現を目指します。

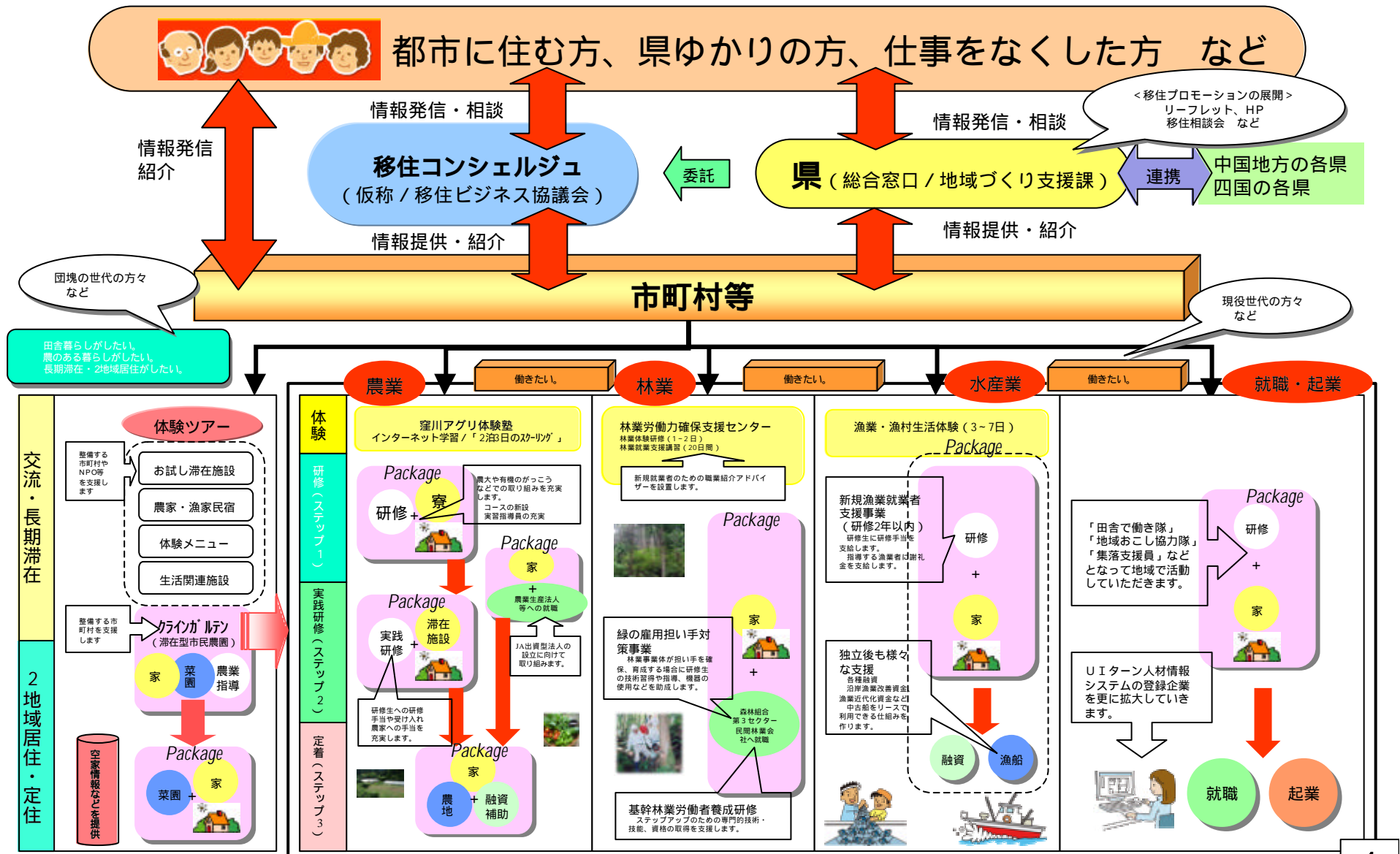
(参考) 観光八策推進のための情報発信館の設置



あったか高知で、暮らそうよ。

2.7億円 (雇用対策との再掲あり)

～ 移住促進対策と第一次産業の担い手づくり ～



ヒト・モノ、迎える、運ぶ 0.6億円

～ 公共交通・二次交通の確保と総合物流戦略づくり ～

ヒトを運ぶ

～ 地域の公共交通を支える～

コンセプト

地域の総合交通を検討する
公共交通の重要性を再認識してもらう
地域の生活を支える

総合交通体系

- (1) 地域内の鉄道、路線バス、コミュニティバス等との有機的な連携
- (2) まちづくりと地域交通をセットで考える

住民意識を高める

- (1) 公共交通の必要性の再認識
 - (2) 乗って残せる「方策を具体的に示す
 - (3) ICカードですか」の活用、買物ポイント(C) ですかなどの展開
 - (4) 将来的な住民負担のあり方もにらんだ意識の醸成
- これらについて戦略的な広報を試みる

生活を支える公共交通

- (1) 高齢化社会の急速な進展をにらんだ公共交通
- (2) 中山間地域の生活を支える交通のあり方
- (3) 利便性向上によるマイカーから公共交通へのシフト

県内向けシステム

- 高齢者や子供の生活を支える買物、通院、通学などのための交通の仕組みづくり
- (1) 乗合タクシーの設定
高齢者のニーズに合った駅～病院～量販店間の運行
高齢者の動きに合わせた運行時間の設定
 - (2) コミュニティバスの発展型
市町村内の運行に止まっていたコミュニティバスを、拠点駅や基幹病院、量販店等まで延伸
途中は当該市町村以外の者の乗車も可能とすることで利用者を増やす
運行は路線バス事業者に委託
 - (3) 複合型コミュニティバス
通学と通院・買物等のニーズに併せて応えられる仕組みづくり
 - (4) 都市部の交通過疎解消のためのバス事業一元化の検討、交通事業者の経営改善への支援
 - (5) 県内全域にわたる交流のシステムづくり
- など

検討項目

県外向けシステム

- きめ細かな配慮(「おもてなしの心」と思い切った発想による誘客の仕組みづくり)
- (1) おもてなしタクシーの発展型(VIP扱い)
 - (2) 空港からのアクセスの思い切った拡充
 - (3) 地域資源(東部なら、奈半利～東洋町の間)を活かす交通のあり方を検討
 - (4) コミュニティバスを手軽な足として、住民との交流
 - (5) 子供に人気の高いキャラクターバスなどの運行
 - (6) 思い切った発想として海上2次交通の可能性を探る
- など
- *前提となる誘客のための
特色ある企画によるチャーター便の運航実現
多様な観光客ニーズにきめ細かく応える企画商品づくり
- など

モノを運ぶ

～ 総合物流戦略づくり～

コンセプト

民間物流を助ける、促進する
産業振興計画実現の底支え(大切なインフラ)

そのために、

- (1) 新たな産業振興策には、原則として新たな物流システムを検討
- (2) 様々な可能性を探る
 - ・思い切った発想転換
 - ・海外の物流システムの研究
 - ・国の物流施策の方向に合わせた取組み模索

課題

- 輸送時間の短縮や効率化
事業者毎に個別対応という実態
ワンモード、ワンルートに限定
中山間の物流が不十分
県外への輸送コストが割高(特に小ロット産品)
港湾が海運に有効活用されていない

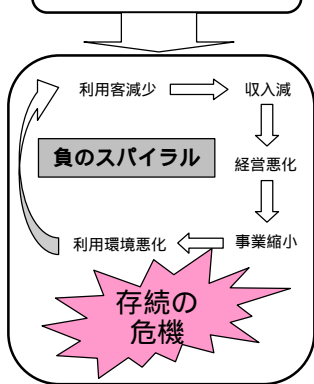
検討の進め方

庁内各部から潜在する物流ニーズを把握
それらに対応できる仕組みを検討
有識者会議からアドバイスをもらう

検討項目

- (1) 事業者の連携、ネットワーク化
 - (2) 新たな配送システムの構築
 - (3) 混載など積載効率の向上
 - (4) 共同配送、輸送ルートの開発
 - (5) フェリー誘致、RORO船誘致
 - (6) JR貨物の活用、車両へ貨物車をプラスワン
- など

過疎化、高齢化、人口減少、マイカー利用、旅行手控え、景気悪化、運賃値上げ



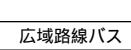
本県の現状は、



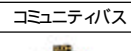
土佐くろしお鉄道 ----- 基金が底をつく



路面電車、路線バス ----- 高知市内でも路線見直し



広域路線バス ----- 見直し、縮小



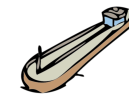
コミュニティバス ----- 自治体に負担感



タクシー ----- 台数増、需要減



飛行機 ----- 利用減少による路線危機



生活を守る、産業振興につなげる。569億円 (2月補正含むと655億円)

～ インフラの整備と南海地震対策の推進 ～

インフラの整備

(1) 公共事業等の推進 (地域活力基盤創造交付金事業含む) 530億円 (21当初)

21当初+ 2月補正 565億円 (当+ 2月補正549億円より16億円、2.9%の増)

国道・県道の整備

- ・ 国道195号線・321号線 (以布利バイパス (21完成))
- ・ 高知南インター線、影野インター線、奥西川岸本線 (21完成) ほか
- 都市計画道路の整備 (はりまや町一宮線、高知山田線ほか)
- 河川改修事業の推進 (宇治川、日下川、仁井田川など)
- 急傾斜地崩壊対策事業の推進 (室戸市 (珍地) ほか54箇所)



(2) 地域の要望に対応するきめ細かなインフラ整備・修繕への対応 44億円 (2月補正)

地域活性化・生活対策交付金を活用してこれまでできなかったきめ細かな整備を実現

- ・ 江の口川排水機場ポンプ設備更新、道路標識・トンネル・橋梁の修繕、都市公園の整備など
- ・ 地域の安全・安心推進事業の大幅な拡充 20億円 (2月補正+21当初、 当初の1.5倍に)

南海地震対策の推進

南海地震対策関連予算 39億円 公共事業の再掲含む

(2月補正7億円を含めると46億円) (当初30億円)

(1) 強い揺れから身を守る対策 23億円 (2月補正 5億円) (公共事業を含む)

木造住宅の耐震化を支援 (診断1,200戸、工事400戸) 155百万円

保育所・幼稚園耐震化促進事業 16百万円

公立小中学校耐震化促進事業 234百万円 (2月補正 46百万円)

県立学校耐震化推進事業 372百万円

本庁舎等耐震改修事業 502百万円 など



(2) 大津波から逃げる対策 13億円 (2月補正 1億円) (公共事業を含む)

漁業集落環境整備事業 350百万円、高知港津波・高潮防災ステーション整備 150百万円 など

(3) 震災に強い人・地域づくり対策 2億円 (2月補正 1億円)

地域地震防災対策事業 141百万円 (2月補正 98百万円)、災害ボランティアセンター支援事業 3百万円 など

(4) 総合的な地震防災対策の推進 1億円 (2月補正 0.2億円)

防災情報・通信システム管理運営事業 63百万円 (2月補正 17百万円) など

学力向上・いじめ問題等対策計画の着実な推進

～ 計画の充実強化と課題のある地域への積極的な支援 ～

4年間で学力全国水準を確実に達成するために、平成21年度は特に次の2つに強力に取り組みます。 **4億円**

1 放課後における子どもたちの学びの場の確実な設置 281百万円（ 177百万円）

(1) 実施校の拡大（高知市含む）

小学校 199カ所（163校） 222カ所（179校）
中学校 新たに重点校で「放課後学習室」を設置 <0 17カ所>

(2) 新たに、学び場の環境を充実（図書、教材、備品、講師の配置等） <0 152カ所>

(3) 新たに、人材バンクを創設

学習活動を支援する講師等の発掘・登録や市町村への情報提供等を行います。



2 高知市への緊急支援事業の実施 136百万円（ 21百万円）

(1) 中学校学習習慣確立のための緊急支援事業（55百万円）

自主学習や家庭学習の習慣化を図る取り組み

家庭学習のプリントを作成し、宿題を与え、学校で点検・添削することによって自主学習や家庭学習の習慣化を図る取り組みを高知市で行う。

確認テストや県の単元テストで定着度を把握し、補充学習のための「中学校学力向上補助員」がフォローすることで、高知市の中学生の基礎学力の定着を図る。（「中学校学力向上補助員」は、全19中学校のうち小規模校を除く16校に各1名ずつの計16名を配置）



「家で学校の宿題を全くしていない中学生の割合」（平成20年度全国学力・学習状況調査）/ 高知市（15.7%）、高知県（9.4%）、全国（5.7%）

(2) 更に、県として、次の人的支援（74名）を行い、上記（1）と合わせて高知市の学校に総勢90名を配置

新たに、「放課後学習支援員」を全19中学校に51名配置（62百万円）（緊急雇用創出臨時特別基金事業を活用し、基礎学力が定着していない生徒に個別支援を行う）

「中学校学力向上サポーター」を全19中学校に各1名ずつ計19名を配置（13百万円）（本年度に引き続き授業時間や放課後での個別学習支援や宿題の点検等を行う）

新たに、「不登校等学習支援員」4名を配置（6百万円）（不登校等の生徒への個別の学習支援を行う）

(3) 上記(1)(2)以外に高知市が学習支援を行う独自の「学習チューター」（大学生）を全19中学校へ計59名程度の配置

以上、高知市立中学校に対する人的支援は、県・市あわせて総勢78名から71名増の149名へと大幅に拡充
基礎学力が定着していない生徒を確実にフォローします。

まち、むら、子どもたちでいっぱい。 36億円

～ 少子化対策の総合的な推進/生み、育てやすい環境を創出 ～

《少子化の要因》

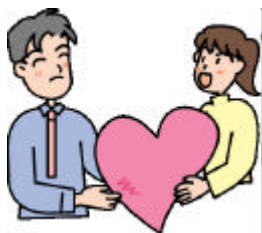
- ・未婚化・晩婚化の進行
- ・子育ての負担感・不安感の増大による夫婦の持つ子ども数の減少

結婚や子育てに安心と喜びを感じられる高知県を目指してライフステージに応じた総合的な少子化対策を推進します。

結婚

少子化の大きな要因である未婚化・晩婚化への対策として結婚を望む独身男女の出会いのきっかけづくりを応援

- 【拡】こうち出会いのきっかけ応援事業 7,093千円
出会いのきっかけを創出する事業への支援
県内独身者の交流会の開催
出会い応援団（サポーター）制度の創設



妊娠～出産期

県民だれもが安心して、妊娠・出産できる環境づくり

- 【拡】高知県妊婦健康診査支援事業費補助金 196,729千円
妊婦健診の公費負担の拡充（14回まで無料化）
- 【拡】周産期医療体制整備事業 65,317千円
産科医等を確保するため分娩手当を支給する医療機関を支援
助産師外来の開設支援
未熟児等在宅ケア体制の整備
- 不妊治療費助成事業 48,160千円
不妊治療への助成



育児・子育て期

多子（3子以降）世帯への子育て支援

- 【新】多子世帯保育料軽減事業費補助金 20,092千円
第3子以降3歳未満の保育料の無料化
- 【拡】乳幼児医療費補助金 477,929千円
第3子以降の就学前の幼児の医療費を原則無料化
（所得による制限があります。）



さまざまな子育て支援のニーズへの対応

- 【拡】保育サービス促進事業費 336,937千円
休日保育、一時保育などの保育サービスの実施促進
- 【拡】放課後子どもプラン推進事業費 281,266千円
放課後児童クラブ、放課後子ども教室の設置促進と学習活動の充実
- 【拡】救急医療対策推進事業費 5,266千円
小児救急電話相談の実施日数の増
- 【拡】子育て・親育ち支援事業 2,122千円
幼児教育と保健医療の観点からの親育ち支援の強化



推進体制

県、市町村、民間（高知県少子化対策推進県民会議を中心とする企業・団体等）が一丸となった少子化対策を推進
少子化対策を推進するため新たな課を設置し、少子化対策推進本部を中心に横断的な取組を推進
子育てに関する情報提供など、少子化の問題について効果的な広報・啓発活動を実施（情報紙の発行 年4回）



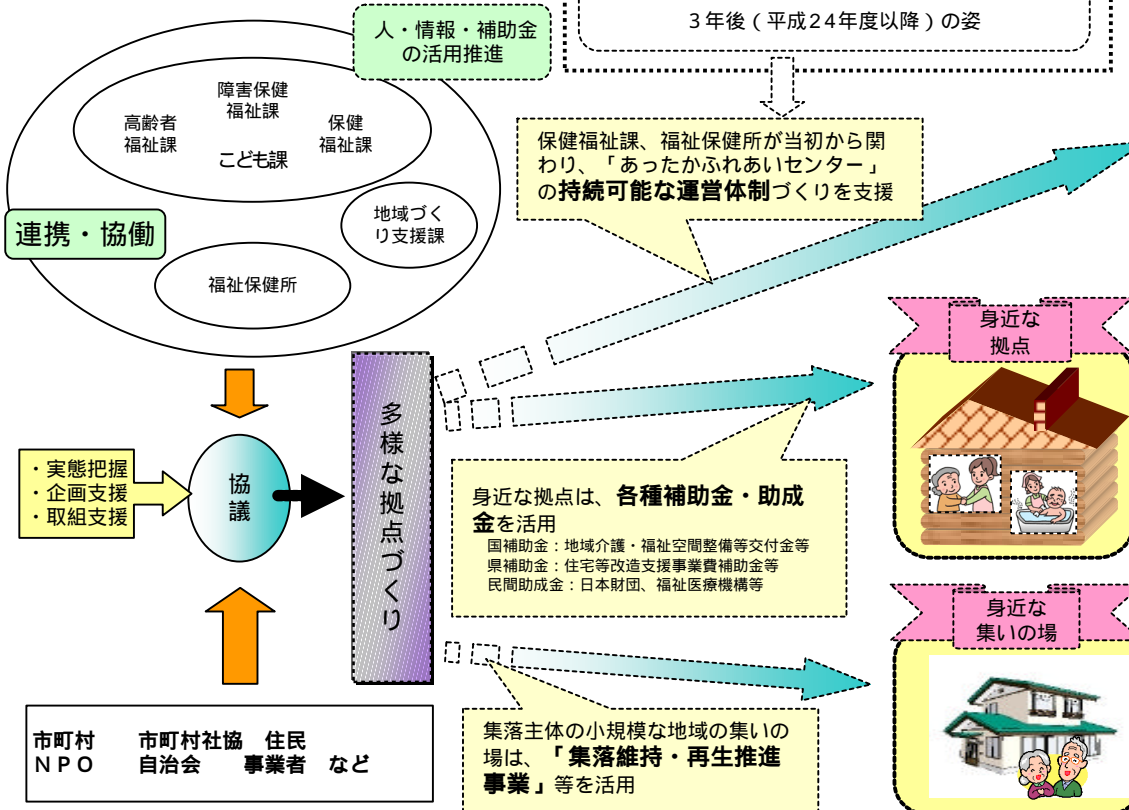
高知から始まる新しい支え合いのカタチ 1.5億円

～ あったかふれあいセンターの整備促進 ～

目的

高齢者や子ども、障害者など誰もが集い、健康づくりや介護予防、生活支援の拠点となる場を、様々な補助金などを活用しながら、住民、事業者、専門家、行政の協働によって増やしていきます。

取り組みの進め方



ふるさと雇用再生特別交付金を活用した住民主体の支え合いの拠点づくり

あったかふれあいセンター

制度事業所型拠点

支え合い型拠点

3年後（平成24年度以降）の姿

あったかふれあいセンターのイメージ

共生型

・ 高齢者、障害者、子ども、子育て中の母親など誰でも

多機能

- 機能例
- 集う...サロン、デイサービス、放課後の児童の居場所
- 泊まる...緊急時の宿泊
- 預かる...緊急時の一時預かり
- 訪ねる...配食サービス、見守り、買い物代行
- 働く...生活訓練、就労支援
- 送る...送迎サービス、外出支援

運営体制

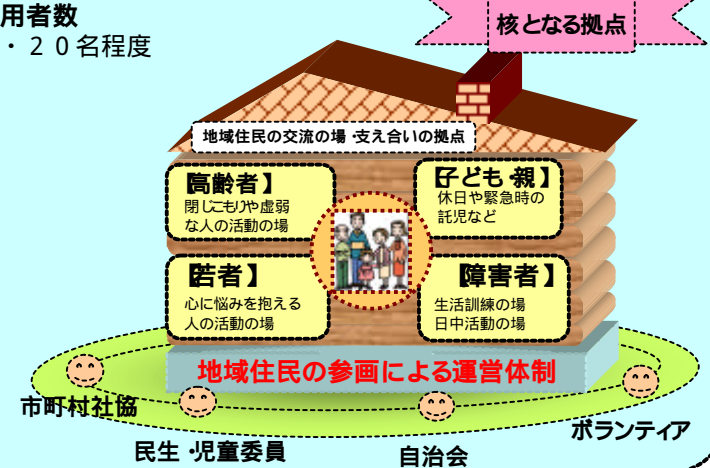
・ 住民参画による地域に開かれた持続可能な運営体制

スタッフ体制（想定）

・ コーディネーター1名、生活支援員1名、ボランティア（必要人数）、離職者等3人程度

利用者数

・ 20名程度



【事業名】ふるさと雇用再生あったかふれあいセンター推進事業費補助金

【予算額】150,000千円

【補助先】市町村（10/10補助）

【箇所数】10箇所

元気、イキイキ、みんな長生き

～ 日本一の健康長寿県の実現に向けて ～

18億円

県民一人ひとりが、生涯を通じて
住み慣れた地域で安心して暮らすために

県民が地域で安心して暮らすことができる体制づくり

高齢者が住み慣れた地域でイキイキと生活ができるように支える体制づくり

県民一人ひとりが元気で活動的に暮らすことのできる健康づくり

保健医療計画

地域医療の確保

高知大学医学部への家庭医療学講座の設置 25百万円

医師養成奨学金 85百万円
新規貸付枠の拡大
18名 28名

助産師緊急確保対策奨学金 19百万円
貸付対象者の拡大
高知女子大学も貸付対象に

救急医療対策 348百万円
[新] ドクターヘリの導入検討委員会の設置
[新] 救急勤務医手当を支給する医療機関に対する助成



地域ケア体制整備構想

地域ケア体制の推進

地域でのケア体制づくりに対する助成 15百万円

12ヶ所 20ヶ所
高齢者の日常生活を支える
仕組みづくり
医療と介護の連携強化



[新] 住民座談会の開催 10ヶ所

[新] 認知症コールセンターの設置

老人福祉施設等の整備に対する助成
432百万円(2ヶ所)



健康増進計画

県民の健康づくりの推進

[新] ウォーキングマップを活用した健康ウォーキング大会の開催



[新] がん検診・特定健診受診率向上キャンペーンの実施 3百万円

[新] 女性のがん検診未経験者を対象とした普及啓発事業の実施 4百万円

がん相談窓口の拡充
[新] 出張相談室の開催

地域に根ざした健康づくりを推進する組織・人材の育成

[新] 健康長寿県づくり情報誌の発行 3百万円

地域ごとの保健・医療・福祉の連携体制

～ 地域で県民の健康と生活を支える

地域の保健・医療・福祉関係者、地域住民の合意の場

《地域保健医療福祉推進会議》

それぞれの地域の特性に応じた、予防から医療福祉まで連携の取れたサービスを提供するための取り組みの推進

各福祉保健所が地域ごとに設置

《地域医療体制部会》

地域医療体制の整備と充実

《地域ケア体制部会》

在宅での生活支援体制の構築

《地域健康づくり部会》

生活習慣病予防の展開

共に支え合いながら元気に生き生きと暮らすことのできる地域づくり

A life in 中山間 9億円

～ 安心して住み続けられる地域を創出します。 ～

中山間地域でいつまでも暮らしていけるよう応援します！

地域づくり支援事業費補助金 120百万円

地域のにぎわいづくりや活性化に向けた取り組みを応援します。

補助先：市町村
補助率：1/2

内容：地域の団体、グループなどの地域の活性化に向けた取り組み
例えば...

地域の鉄道のイメージアップ
グリーンツーリズムの推進、
集会所のリニューアル
イベントなどの実施による交流人口の拡大など



中山間地域生活支援総合補助金 210百万円

移動手段や生活用水の確保など地域での生活を確保します。

集落の維持・再生のための支え合いや安全・安心の仕組みづくりを応援します。

補助先：市町村
補助率：2/3

内容：生活支援
日用生活用品、生活用水、移動手段の確保
集落の維持・再生活動
集落を維持するための対策や実践活動



情報通信基盤整備事業費補助金 362百万円

地域間の情報格差の是正のため、市町村が行うブロードバンド環境の整備を支援します。



中山間地域の産業を育てる、創る

農業を応援します。



収益性の高い園芸品目などの産地化による所得の向上を目指し、こうち型の集落営農の仕組みを作ります。

こうち型集落営農モデル育成事業 7百万円
中山間地域集落営農等支援事業 122百万円

土佐ゼローの中山間地域での生産基盤の強化と産地育成に努めます。

土佐ゼロー生産体制整備強化事業 7百万円



林業を応援します。

中山間の自伐林家の方々などが意欲を持って生産活動に取り組めるよう支援します。

自伐林家等支援事業 21百万円
中山間の副業型林業者を育てる事業 3百万円



新しい産業づくりを進めます。

高齢の方にも適した薬用植物の栽培・利用技術の開発を進めます（牧野植物園）。

薬用植物等活用促進事業 30百万円



県民を守るための緊急雇用対策 32億円

(金額は緊急雇用創出臨時特例基金・ふるさと雇用再生基金事業)

～ あったか高知・雇用創出プラン/3千人の雇用を目指して ～

高知県の雇用状況

景気が回復していた全国の雇用情勢が急激に悪化している中、本県では元々厳しい雇用情勢がさらに悪化しています。

有効求人数の減

(単位:人)			
	H19.12月	H20.12月	増減
高知県	8,346	7,445	901

出典:高知労働局

有効求人倍率の低下

(単位:倍)			
	H19.12月	H20.12月	増減
全国	0.98	0.72	0.26
高知県	0.50	0.43	0.07

出典:高知労働局

非正規労働者の雇い止め等が増加

(単位:人)			
	H20.11.25	H21.1.26	増減
高知県	61	173	112
派遣		75	75
契約	61	95	34
その他		3	3

出典:厚生労働省

取組の方針

- その1 雇用のミスマッチを解消するため、労働力不足分野への円滑なシフトを可能とするきめ細やかな就職支援対策を講じます。特に、1次産業や健康福祉産業など需要があっても人手が不足している分野での雇用の創出を目指します。
- その2 「ふるさと雇用再生特別交付金及び緊急雇用創出特別交付金」や「地域活性化・生活対策臨時交付金」、地方交付税の「地域雇用創出推進費」を活用した積極的な雇用の創出を図ります。

具体的な取組

- あったか高知・雇用創出プラン**
 新たなサービスによる雇用創出
 【ふるさと雇用再生特別基金・緊急雇用創出臨時特例基金の活用】
 高齢者、子供、障害者など誰もが集える生活支援の拠点づくり
 小・中学校の放課後の学び場づくり
 労働力不足分野での雇用創出
 【地方交付税の地域雇用創出推進費の活用】
 本県の強みである1次産業において積極的に担い手を確保
 建設業から農林業や福祉分野などへの参入を支援し、地域の雇用を確保
 移住希望者の受皿づくり(就労の場と住まいの確保策)
- 就職支援機能の強化**
 若年者の就業促進の強化
 幡多地域にジョブカフェこちのサテライト施設を設置
 「高知しごとネット」の開設
 県内の求人求職情報を一元化する専用ポータルサイトを充実
- 公共事業等による雇用の確保**
 地域活性化・生活対策臨時交付金等の国の2次補正予算への積極的な対応

